

【授業の到達目標および概要】

授業のテーマ及び到達目標： 栄養学研究における量的調査法と質的調査法をテーマとする。人間集団を対象とした栄養学研究に必要な食生活調査、食環境調査法として、質問紙を用いた量的調査と、個別およびグループインタビューによる質的調査の方法論を理解し、研究目的に合わせた調査設計ができるようになる。また、食環境調査の方法を説明できるようになる。

授業の概要：

- ・量的調査として、食行動・食態度・食知識等の把握を目的とした質問紙調査の基本を学び、実際に調査票の設計を行って理解を深める。
- ・質的調査として、個別面接法とグループインタビュー法（フォーカスグループインタビュー）の方法と活用事例を学び、実際に逐語録の分析を体験する。
- ・食環境調査法として、既存資料の活用、観察法、質問紙法、GISなどの手法を学び、先行研究の動向を知る。
- ・最後に、これらの調査法を目的に合わせて組み合わせ活用するシミュレーションを考え、各調査法の特徴及び、相互関係について理解を深める。

【授業計画】

- ① 研究目的に合わせた調査法選択の必要性と、調査における倫理的配慮
- ② 量的調査1：質問紙調査の基本（対象者の選定・抽出方法、各種調査方法の特徴など）
- ③ 量的調査2：質問紙の作成（理論モデルに基づく調査枠組みの作成と調査票の設計）
- ④ 量的調査3：先行研究の事例から、質問紙調査の設計・実施方法の課題を考える
- ⑤ 量的調査4：研究課題に合わせた調査枠組みの作成と調査票設計の演習
- ⑥ 量的調査5：入手したデータの処理と解析方法（調査実施前に解析方法を考えることの必要性）
- ⑦ 質的調査1：質的調査のと種類と特徴、対象のサンプリング、インタビューガイドの作成
- ⑧ 質的調査2：個別インタビューを用いた先行研究の事例から、調査実施と論文執筆上の留意点を学ぶ
- ⑨ 質的調査3：フォーカスグループインタビューを用いた先行研究の事例から、調査実施と論文執筆上の留意点を学ぶ
- ⑩ 質的調査4：質的調査の解析方法として、逐語録の分析の演習
- ⑪ 食環境調査1：食環境調査法の基本（食環境の概念整理、および、栄養学研究における意義、など）
- ⑫ 食環境調査2：食環境調査法の種類と特徴（既存資料の活用、観察法、質問紙法、GISなど）
- ⑬ 食環境調査3：近年の食環境と食物摂取健康状態との関連に関する先行研究の動向
- ⑭ 調査法の実際の活用演習（地域、学校、職場などを想定して、研究目的に合わせ、複数の調査を組み合わせて用いることのシミュレーションと発表）

【授業外学習】

授業時に指示する関連の先行文献・資料を読み、授業の予習・復習を行うこと。
学修内容を、自分の研究課題とつなげ、どのように活用できるかを考え、理解を深めること。

【成績評価の方法・基準】

授業への参加態度（20%）、総合レポート（80%）から総合的に評価

【教科書】

特になし

【参考書】

- ・中村好一：保健活動のための調査・研究ガイド、2002. 医学書院

- ・保坂亨、中澤潤、大野木裕明編著：心理学マニュアル 面接法、2000. 北大路書房
- ・キャサリン・ポープ／ニコラス・メイズ編著、大滝純司監訳：質的研究実践ガイド - 保健医療サービス向上のために、2008. 医学書院
- ・佐藤郁哉：質的データ分析法 - 原理・方法・実践、2008. 新曜社

【教材】

授業時に配布。

【備考】

特になし